

令和7年度 第1回 医療介護連携推進委員会 次第

日時：令和7年6月20日（金）

13：30～15：00

会場：市役所 会議室1

1 あいさつ

2 議題

（1）在宅医療・介護連携推進事業について

ア．令和6年度実績報告 [資料1][別紙1]

イ．令和7年度事業計画 [資料1][別紙2][別紙3]

（2）はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）について [資料2][資料3]

利用登録状況等について

3 その他連絡事項

次回：令和7年度 第2回 令和7年10月17日（金）市役所 談話室1

在宅医療・介護連携推進事業

目的：切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築（看取りや認知症への対応を強化）

豊南市高齢者ほっとプラザ（第9期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画）

医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を地域で支えていくために切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を推進します。

入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り、認知症の対応力強化、感染症や災害時対応等の様々な場面において医療、介護関係者の連携を推進し、在宅医療・介護を一体的に提供できるように医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護師会、介護サービス事業所と緊密に連携します。

また、「人生会議（ＡＣＰ（アドバンス ケア プランニング）」の普及を通じて、もしものときのために、望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みを推進します。

事業項目・取組内容		令和7年度	令和6年度
現状分析・課題抽出・施策立案	(1) 現状分析・課題抽出・施策立案 在宅医療・介護連携に関して、必要な情報の収集、整理及び活用、課題の把握、施策の企画及び立案、医療・介護関係者に対する周知を行う ■地域の社会資源（医療機関、介護事業所の機能等）や在宅医療や介護サービスの利用者の情報把握 ■将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など） ■情報を整理しリストアップやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用 参考：8つのタスク 「ア」地域の医療・介護の資源の把握 「イ」在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 「ウ」切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	1. 「医療と介護ガイドマップ」作成、1,500部印刷配布 「みんなのあんしん介護保険」作成、1,500部印刷配布 2. 総合事業周知パンフレット作成、配布 3. 医療、介護サービス提供状況、在宅医療・介護連携の取組の現状を把握 4. 連携の新たな課題および対策案の検討 ・介護支援専門員の実態把握（4月） 居宅介護支援事業所9ヶ所 地域包括支援センター3ヶ所 ・医療介護関係者のネットワーク作り ・医療介護関係者の顔の見える関係作り ・住民啓発 ・身元保証人不在時の対応に関するケース対応 5. 近隣の病院の患者相談窓口一覧作成・周知 6. 近隣の認知症疾患医療センター相談窓口および認知症関連病院（受診・入院対応可能）相談窓口一覧作成・周知 7. 医療介護連携推進委員会での検討（6月20日、10月17日、2月10日） 8. 地域包括支援センターでの、課題および対策案の検討	1. 「医療と介護ガイドマップ」作成、1,500部印刷配布 「みんなのあんしん介護保険」作成、1,500部印刷配布 2. 総合事業周知パンフレット作成、配布 3. 医療、介護サービス提供状況、在宅医療・介護連携の取組の現状を把握 4. 連携の新たな課題および対策案の検討 ・介護支援専門員の実態把握（4月） 居宅介護支援事業所9ヶ所 地域包括支援センター3ヶ所 ・医療介護関係者のネットワーク作り ・医療介護関係者の顔の見える関係作り ・住民啓発 ・身元保証人不在時の対応に関するケース対応 5. 近隣の病院の患者相談窓口一覧作成・周知 6. 近隣の認知症疾患医療センター相談窓口および認知症関連病院（受診・入院対応可能）相談窓口一覧作成・周知 7. 医療介護連携推進委員会での検討（6月21日、3月4日） 8. 在宅医療・救急医療連携にかかるセミナー（11月5日） 在宅医療・救急医療連携チーム会議（2月17日） 9. 地域包括支援センターでの、課題および対策案の検討
	(2) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の必要な援助を行う ■コーディネーターの配置等による相談窓口の設置 ■関係者の連携を支援する相談会の開催 参考：8つのタスク 「オ」在宅医療・介護関係者に関する相談支援	1. 在宅医療サポートセンター設置（市民病院内に公所として設置） ・医療介護連携を支援する相談（電話相談・訪問相談） 医療介護関係者からの各種相談 訪問歯科診療（歯科医師会）、栄養相談（保健センター）等の各種相談 認知症初期集中支援チーム活動 ・地域包括支援センターとの連携 打合せ会（6月24日、10月28日、2月24日） ・市内・近隣市の医療介護機関との連携	1. 在宅医療サポートセンター設置（市民病院内に公所として設置） ・医療介護連携を支援する相談（電話相談・訪問相談） 医療介護関係者からの各種相談 訪問歯科診療（歯科医師会）、栄養相談（保健センター）等の各種相談 認知症初期集中支援チーム活動 ・地域包括支援センターとの連携 打合せ会（年3回） ・市内・近隣市の医療介護機関との連携
対応策の実施	(3) 地域住民への普及啓発 在宅医療・介護連携に関する地域住民の理解を深めるための普及啓発を行う ■地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催 ■周知資料やホームページ等の作成 参考：8つのタスク 「キ」地域住民への普及啓発	1. 医療介護市民講座の開催（令和8年1月8日） 2. 「私の大切な4つの覚え」の普及、ホームページ掲載 元気編・治療編・EOL編の3つの段階で普及 3. 講座等の開催 ・出前講座 ・遊友の会（6月25日、9月19日） ・おたっしや大学（1月30日） 4. エンディングノート（包括連携協定）周知・活用 ホームページ掲載 絆ノート書き方講座の開催（8月6日）	1. 医療介護市民講座の開催（令和7年2月9日：111名） 2. 「私の大切な4つの覚え」の普及、ホームページ掲載 元気編・治療編・EOL編の3つの段階で普及 3. 講座等の開催 ・出前講座（5月16日：76名 中部高齢者教室、大浜高齢者教室） 1月23日：31名、1月24日：39名 ・遊友の会（6月20日：14名、11月28日：14名） 4. エンディングノート（包括連携協定）周知・活用 ホームページ掲載 絆ノート書き方講座の開催（7月31日：34名） 絆ノート配布（288冊）

(4) 地域の実情に応じて行う医療・介護関係者への支援 (柔軟な実施が可能)

医療・介護関係者間の情報の共有を支援する事業、医療、介護関係者に対して、在宅医療・介護連携に必要な知識の習得及び当該知識の向上のために必要な研修を行う
その他地域の実情に応じた医療・介護関係者を支援する

■医療・介護関係者の情報共有の支援
在宅での看取りや入退院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用

■医療・介護関係者の研修
多職種協働・連携に関する研修の実施 (地域ケア会議含む)
医療・介護に関する研修の実施

参考：8つのタスク

「エ」医療・介護関係者の情報共有の支援
「カ」医療・介護関係者の研修

■在宅医療サポートセンター設置 (市民病院内に公所として設置、看護師1名配置)

1. ACPの普及・推進
 - ・市民へのACPの普及 (広報、各種講座等)
 - ・医療介護関係者へのACPの普及 (ACPガイドライン含む)
 - ACPの理解を深めるための取り組み
 - ・多職種で伝え合う方法の確立のための取り組み
 - ・碧南においてACPを推進する会活動
 - ・ACPチーム (市民病院内) 活動
2. 医療介護連携の環境づくり
 - ・医療介護関係者への基本的な医療情報の普及
 - ・医療資源の普及
 - ・訪問診療・往診、訪問看護、市内認知症診断/相談窓口一覽作成・配布
 - ・地域の医療介護関係者との協働による環境づくり
 - ・碧南市看護師会活動

■医療・介護関係者の情報共有の支援

1. 「地域包括ケアシステムのための在宅医療介護連携の手引き」の見直し、活用推進
 2. ICT「電子@連絡帳」活用状況を把握、運用支援
 3. 「私の大切な4つの覚え」の普及、活用推進
元氣編・治療編・EOL編の3つの段階
- 医療・介護関係者の研修等
1. 多職種の協働・連携に関する研修
 - ・多職種合同研修 (12月19日)
 - 日常療養/退院時/急変時/看取りの4場面別にみた連携の強化
 - ・自立支援型カンファレンス (月2回)
 2. 医療・介護に関する研修
 - ・介護・医療職のために医療講座 (7月17日、9月18日、11月20日)
 - ・高齢者虐待対応研修 (12月頃予定)
 - ・権利擁護に関する研修 (2月頃予定)
 - ・認知症啓発イベント (9月23日)
 - ・碧南市介護サービス機関連絡協議会の研修
全体会研修 (5月22日)
 - 介護人材育成研修 (現任リーダー研修10月、11月頃予定)
 - 介護支援専門員研修
 - ・ケアマネジメントに必要な防犯格系疾患の理解～大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折等を含む～ (11月頃予定)
 - サービス事業所研修
 - ・リスクマネジメント研修～虐待・身体拘束防止を中心に～ (7月1日)

3. 主任介護支援専門員連携会議
介護支援専門員への実践向上につながる支援づくり (随時開催)
4. 碧南市リハビリ専門職連絡会活動
 - ・リーダー会議 (6回：偶数月)
 - ・総会 (6月20日)
 - ・研修会 (6月20日、2月予定)
 - ・介護保険未申請および外来リハビリ未利用の入院患者の支援
 - ・健康測定会への支援 (6月27日)
 - ・地域包括支援センターへの支援 (介護予防事業、サロン等)
 - ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施への協力
(高齢者レベル予防事業 講義「転倒・骨折予防」、実技
遊友の会9月9日、10月22日)

■在宅医療サポートセンター設置 (市民病院内に公所として設置、看護師1名配置)

1. ACPの普及・推進
 - ・市民へのACPの普及 (広報、各種講座等)
 - ・医療介護関係者へのACPの普及 (ACPガイドライン含む)
 - ACPの理解を深めるための取り組み
 - ・多職種で伝え合う方法の確立のための取り組み
 - ・碧南においてACPを推進する会活動
 - ・ACPチーム (市民病院内) 活動
2. 医療介護連携の環境づくり
 - ・医療介護関係者への基本的な医療情報の普及
 - ・医療資源の普及
 - ・訪問診療・往診、訪問看護、市内認知症診断/相談窓口一覽作成・配布
 - ・地域の医療介護関係者との協働による環境づくり
 - ・碧南市看護師会活動

■医療・介護関係者の情報共有の支援

1. 「地域包括ケアシステムのための在宅医療介護連携の手引き」の見直し、活用推進
 2. ICT「電子@連絡帳」活用状況を把握、運用支援
 3. 「私の大切な4つの覚え」の普及、活用推進
元氣編・治療編・EOL編の3つの段階
- 医療・介護関係者の研修等
1. 多職種の協働・連携に関する研修
 - ・多職種合同研修 (12月13日：25名)
 - 日常療養/退院時/急変時/看取りの4場面別にみた連携の強化
 - ・自立支援型カンファレンス (月2回：延べ578名)
 2. 医療・介護に関する研修
 - ・糖尿病に関する勉強会 (12月3日：15名)
 - ・高齢者虐待対応研修 (12月19日：50名)
 - ・権利擁護に関する研修 (2月20日：30名)
 - ・認知症啓発イベント (9月7日：100名、11月30日：500名)
 - ・碧南市介護サービス機関連絡協議会の研修
全体会研修 (5月30日：66名)「豪雨災害と向き合う～福祉避難所運営からの教訓～」
 - 介護人材育成研修 (現任リーダー研修10月4日：16名、11月13日：15名、
プレリーダー研修11月28日：13名)
 - 介護支援専門員研修
 - ・介護支援専門員として知っておきたい高齢者の薬物療法の問題点と対策
(1月24日：13名)
 - サービス事業所研修
 - ・介護職員のマニュアルヘルズ (7月3日：15名)
 - ・ゲートキーパー研修 (9月13日：20名)
 - ・高齢者の感染症対策 (10月11日：39名)

3. 主任介護支援専門員連携会議
介護支援専門員への実践向上につながる支援づくり (随時開催)
4. 碧南市リハビリ専門職連絡会活動
 - ・リーダー会議 (6回：偶数月)
 - ・総会 (6月21日)
 - ・研修会 (6月21日：27名、2月26日)
 - ・介護保険未申請および外来リハビリ未利用の入院患者の支援
 - ・健康測定会への支援 (6月28日：49名、11月29日：50名)
 - ・地域包括支援センターへの支援 (介護予防事業、サロン等)
 - ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施への協力
(高齢者レベル予防事業 講義「糖尿病を予防しよう」、実技
遊友の会9月20日：9名、10月11日：9名)

在宅医療サポートセンター年間実績 (令和6年度)

令和7年3月31日

ア 医療介護連携に関する相談支援 厚生労働省(2)

1 電話相談・訪問相談等 (年間相談件数 206 件)

基本情報

	実件数 (人)	性別					年齢					住所			関係医療機関					
		男	女	不明	～64	65～	75～	85～	95～	不明	市内	市外	不明	碧南市民 通院中	碧南市民 入院中	他院 通院中	他院 入院中	開業医 通院中	なし	
R5年間合計	161	83	77	1	18	25	68	46	2	2	152	8	1	88	10	13	5	29	16	
R6 年間合計	206	83	121	2	16	32	99	52	5	2	183	21	2	119	6	10	8	50	13	
(%)	100%	40	59	1	8	16	48	25	2	1	89	10	1	58	3	5	4	24	6	

相談者

	実件数 (人)	医療関係者										介護関係者				一般市民			
		市民病院				市内 他病院		市内 開業医		市外 病院		訪問 看護	他	ケアマネ ジャー	地域包括 支援センター	他	一般 市民	行政等	他
		患者サポート室	外来	病棟	その他	外来	病棟	外来	病棟	外来	病棟								
R5年間合計	161	11	17	3	5	1	4	0	7	1	55	41	3	6	7	0			
R6 年間合計	206	8	63	3	1	1	1	3	12	0	54	32	6	16	6	0			
(%)	100%	4	30	1.5	0.5	0.5	0.5	1.5	6	0	26	16	3	8	3	0			

相談内容

相談内容	実件数 (人)	紹介		窓口		通院・相談		治療・療養への関係調整					状態悪化		認知症		対応困難 事例への 支援	病状・治療 認識への 支援	意思決定 支援	情報提供	その他
		医療 機関	介護 機関	訪問 歯科	栄養 指導	市民病院 外来	市民病院 病棟	市民病院 外来	市民病院 病棟	市内 病院	市外 病院	開業医	療養 支援	受診 支援	療養 支援	受診 支援					
R5年間合計	161	2	0	1	0	6	0	27	1	1	1	2	14	21	15	6	31	5	8	12	8
R6 年間合計	206	6	0	1	0	7	0	35	3	0	1	4	16	16	66	3	25	6	4	7	6
(%)	100%	3	0	0.5	0	3	0	17	1.5	0	0.5	2	8	8	32	1.5	12	3	2	3	3

実施内容(複数あり)

	実施内容(概要あり)	紹介		窓口	通院・相談		治療・療養への関係調整				状態悪化		認知症		対応困難事例への支援	病状・治療認識への支援	意思決定支援	情報提供	その他		
		医療機関	介護機関	訪問歯科	栄養指導	市民病院外来	市民病院病棟	市民病院外来	市民病院病棟	市内病院	市外病院	開業医	療養支援	受診支援						療養支援	受診支援
R5合計		3	1	1	0	6	0	58	3	3	1	10	18	20	14	6	42	28	21	39	11
R6年間合計		3	0	1	0	0	0	74	4	3	1	11	27	22	62	15	34	43	30	92	5

活動(複数あり)

	電話・FAX・メール						院内面談								訪問					合議等	他
	医療機関	医療系 サービス	ケアマネ ジャー	介護系 サービス	一般 市民	他	院内 医師	院内 看護士	院内 MSW等	院内 その他	医療系 サービス	ケアマネ ジャー	介護系 サービス	一般 市民	医療 機関	事業所等	地域包括 支援センター	行政等	自宅		
R5合計	313	199	840	150	59	222	335	738	135	200	87	59	3	350	66	69	12	32	11	50	25
R6 年間合計	343	256	743	211	38	290	406	807	131	204	191	84	36	415	78	99	19	17	5	48	26

イ 地域における医療介護の連携支援 厚労省(3)(4)

■ACPの理解を深め、現場で実践につなげるための啓発活動

ACP人材育成ステップ研修 (初級・中級 計2回) <企画・運営・講義・進行>

ファシリテーター育成 (初級・中級 計2回) <企画・運営・講義・進行>

初級編 令和6年9月21日 医療介護関係者31名 ファシリテーター11名

中級編 令和6年10月19日 医療介護関係者32名 ファシリテーター11名

内 容: 市内の医療介護関係者を対象に、E-FIELDを参考とした講義とロールプレイにより、ACPに関わることができる人材を育成する

方 法: 対面 (碧南市民病院)

フォローアップ研修① <企画・運営・講義・進行>

令和6年7月17日 小林記念病院・加藤病院スタッフを含む34名

テーマ: 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインを使いこなそう!

内 容: 「ガイドラインに沿った意思決定支援」「本人の意思決定能力」(講義)

身近なACP実践報告・意見交換(事例検討)

方 法: Zoomで2会場(碧南市民病院・小林記念病院)を結ぶハイブリット

フォローアップ研修②＜企画・運営・講義・進行＞

令和6年11月20日 患者の最善を追求するための関わり 院内16名

令和7年1月22日 誰が中心となって意思決定支援を進めるべきか 院内10名

令和7年2月19日 ACPの流れを整え意思決定を支援するのは誰か 院内外20名

テーマ：ACP実践事例で話す座談会

内容：実践事例をもとにACPの流れの中から一部分を切り取り、テーマを決めて気軽に意見交換するとともに、課題解決に役立つ机上の知識を提供する

方法：対面（碧南市民病院）

共有意思決定支援（SDM）ビデオ＜企画・作成・配信＞

テーマ：大切な意思決定には共有意思決定支援（SDM）を！

～共有意思決定支援（SDM）とインフォームドコンセント（IC）の違い～

内容：ICとSDMの違いを解説、ロールプレイで具体例を示したPPTによるビデオを作成し、院内メールで院内職員に配信

広報 ACPすぶらうと（計5回）＜作成・配布＞

5月号 令和6年度の研修予定

7月号 認知症のACP

8月号 地域ACP運用検討会の結果報告

11月号 研修報告（人材育成研修 初級・中級 フォローアップ研修①）

3月号 研修報告（フォローアップ研修②）

内容：主に「碧南においてACPを推進する会」の活動をまとめ、市内医療介護関係者に配布

その他の院内ACPチーム活動＜他のチームメンバー各担当への協力＞

院内多職種へのアンケート調査

院内メールによるACP情報の配信

ACP冊子の修正

■対象のACPに関する情報を共有するための体制構築

地域ACP運用検討会＜企画・運営・進行＞

令和6年8月6日 碧南市内19事業所（医療機関含む）27名

目的：市内医療介護関係者が対象のACPに関する情報を共有するための環境が確立し、活用される

内容：意思決定支援の結果として得た情報を他の担当へ伝える方法を、様々な立場の医療介護関係者が検討

方法：対面によるグループワーク（碧南市民病院）

認知症外来受診患者に関する地域担当への情報提供＜企画・実施・調査・学術交流会提出＞

認知症認定看護師・神経内科外来看護師との協力で、受診患者のうち介入を希望の方について、地域担当者へ結果を情報提供。その効果を知るために、情報提供先の18事業所20名にアンケート調査。その結果をまとめ院内学術交流会へ提出。この結果より、認知症告知後のACPに対する効果的なかかわりを検討。

高齢者運転免許更新外来変更のへの協力＜調査・調整・周知＞

実績を確認し、医師会・院内関係者との調整を経て、更新内容をかかりつけ医への周知。

■医療・介護に関して情報を得るための取り組み

オンライン ランチョンセミナー＜企画・運営・進行＞

令和6年5月28日 医療保険の訪問看護 15施設46名

令和6年6月25日 神経難病パーキンソン関連疾患等の進行に合わせたサービスの考え方 14施設46名

令和6年7月30日 精神疾患の理解とその基本的なかかわり方 13施設49名

令和6年9月3日 介入困難事例の整理のコツ 13施設43名

内容：お昼休みの30分、各テーマについて地域で活動中の専門の方々に講義依頼

方法：Zoomによるライブ配信

市内かかりつけ医と医療介護サービス担当者との相談方法のまとめ＜調査・更新・配布＞

医師会の協力のもと、医療介護担当者との連携が必要となる可能性が高い市内19医療機関（病院を除く）に対し、望ましい相談方法を調査。結果を表にまとめ、市内居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、病院、訪問看護ステーションに配布。

認知症新薬（レカネマブ）治療の体制構築への協力

神経内科外来・認知症認定看護師とともに体制構築に協力。かかりつけ医や市民に対して、広報紙で治療概要や治療状況の情報提供を行った。その後、治療者数の増加に伴い、治療開始半年以降の協力病院が必要となり、小林記念病院との連携する方法を模索。協力交渉～具体的な連携体制構築について協力。

■碧南市看護師会の取り組み

「碧南市看護師会」事務局活動＜運営・周知＞

総会1回、役員会4回（うち2回は書面開催）、3役会1回、研修5回、広報「看護師会ニュース」2回

「碧南市健康を守る会 すこやか碧南」編集委員会＜委員会参加＞

編集委員として参加。

■訪問看護師とかかりつけ医の連携強化への取り組み

かかりつけ医・訪問看護の座談会＜企画・運営・進行・結果周知＞

令和6年7月4日 かかりつけ医2名 市内6訪問看護ステーション看護師15名

テーマ：碧南の在宅医療を盛り上げよう！

内容：かかりつけ医への相談方法等、訪問看護とかかりつけ医相互の思いを伝え合い、かかわり方について相談。話し合いの結果を医師会医報にて周知。

ウ 市民への ACP や在宅医療・介護の普及啓発

■ACP や地域の医療・介護普及への取り組み

もしバナゲームによる ACP の普及＜講義・ファシリテーション＞

遊友の会：①令和6年6月20日20名 ②令和6年11月28日16名

民間業者：①令和6年6月15日16名

出前講座：①令和6年5月16日76名 ②令和7年1月23日36名 ③令和7年1月24日42名

テーマ：もし話（もしバナ）ゲームで縁起でもない話を身近に

方法：主に市内高齢者に対し、ACP（人生会議）を講義するとともに、トランプゲームで体験。

在宅医療・介護市民講座への協力

令和7年2月9日 一般市民111名

テーマ：もしものときのための人生会議

企画や演出等に関して協力。

研修等

	開催回数	参加者数
R5合計	29	634
R6合計	26	504

豊南市高齢者ほっとプラン 第9期 目標2支え合う地域づくり 2-2 高齢者などの家族を支える連携整備 (2)在宅医療・介護の連携推進
 医療と介護にニーズを併せ持つ高齢者を地域で支えるための、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築 (様々な場面での一時的な医療介護の提供、ACPの推進)
在宅医療・介護連携推進事業 (2)在宅医療・介護連携に関する相談支援 (3)地域住民への普及啓発 (4)地域の実情に即して行う医療・介護関係者への支援
 目的：切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築 (看取り・認知症の対応強化)

豊南市民病院 ACP チーム活動計画

目的：意思決定にかかわる担当者が、ACP 冊子を基に自然に ACP の取り組みが行える環境づくり

令和7年度 豊南市在宅医療サポートセンター 事業計画

目的：自立実現可能な地域づくり 本人が主体的かつ自由に自らの生き方を追求し、実現できる地域づくり (ACP の定着 早期からの状況整理の習慣化)

事業項目		対象	目標	事業内容	
ア 医療介護連携に 関する相談支援	市民 医療介護関係者		「自律実現」に向けた支援 が実施される	●「自律実現」を念頭にいた相談支援	相談業務 (地域、市民病院内) オレンジ外来受診患者とその支援者に対する支援 認知症初期集中支援チームへの参加
				1. 電話相談・訪問相談 2. 市民病院内の相談支援 (オレンジ外来 ACP チーム活動等) 3. 認知症初期集中支援チーム員活動	
イ 医療介護関係者 への連携支援	医療介護関係者		医療介護関係者の ACP に 関する理解が深まる	● ACP の理解を深め、現場での実践につながるための啓発活動	趣向において ACP を推進する会 < ACP 人材育成ステップ研修 > 9/27 (土) 通常研修+ファシリテーター育成 初級編 10/25 (土) 通常研修+ファシリテーター育成 中級編 ※今年度が最終、今後各機関で継続するために積極参加を促す < ACP ずばらうと 4~5 回/年 > 会活動紹介 各施設や個人の活動紹介 院内 ACP チーム < フォローアップ研修 > 7月 情報の吟味*に關して 秋~ 事例検討・座談会など < 看護師対象の研修 > 各部署の管理者等に対する情報の吟味*による状況整理の研修 < 院内メールによる情報発信 > 昨年度からの継続(4回)

*情報の吟味 4 項目
 ①本人の意思決定能力
 ②代替者の選定
 ③知るべき「本人のこと」
 ④情報提供すべきこと

医療介護関係者が対象のACPに関する情報を共有するための環境が確立し、活用される	●地域においてACP情報を共有するための体制構築、関係者間の関係構築 1.地域のACP環境づくり ＜ACP運用の実態アンケート（地域支援系のアンケート内）＞ R6 検討会にて決定・周知した内容の実践状況の確認 市内で働くケアマネ対象（個々に順取） ＜「1人暮らしの人の安心の備えマニュアル（パス）」作成＞ 家族関係の希薄な人を含む 在宅版 入院版 入院版の3パターン 各領域の実践者による検討グループを作り、共に作成 「準備すべきこと」「ACP要素」を含み、人生の流れで作成 作成後は手引きに添付 ＜多職種合同研修 R7.12＞ 市内医療介護関係者が対象 「倫理法令」「権利擁護」「SDM」「認知症の意思決定支援」講師 「1人暮らしの人の安心の備えマニュアル（パス）」説明 認知症事例を基に事例検討 どのように状況整理するのか？ ＜医療講座 自宅療養中、ここが調整ポイント！＞（仮） オンラインのランチョンセミナー 各30分程度 医師または認定看護師 1回 誤嚥性肺炎 2回 心不全 心疾患 3回 脳血管疾患 ＜認知症外来患者に対するACP支援体制＞ 認知症外来受診の方の中で、支援を希望する方を対象 告知後の「病状認識」「本人と家族の思い」働き取り 地域支援担当へ情報提供とACPの開始を促す ＜市民病院通院患者に対する早期からの状況整理体制＞ 外来担当医師が気になる患者を依頼できる体制 看護師が受け取り、ACPを順次状況整理できる体制 院内ACPチーム ＜院内ACP環境づくり＞ 地域からの情報を利用する体制の見直し 地域へ情報を提供する体制の見直し 3.碧南市看護協会によるACP環境づくり
	2.市民病院内のACP環境づくり （ACPチーム活動 認知症外来）
	3.碧南市看護協会によるACP環境づくり

看護協会事務局活動

市民へのACPや在宅医療・介護の普及啓発	市民	市民のACPや医療・介護への理解が深まる	1.必要時、講座等への協力	<市民講座 R8.2> 一般市民対象 一人暮らし等ターゲット 「1人暮らしの人の安心の備えマニュアル」を説明する内容 パネルディスカッション パネラー：在宅 施設 病院 行政 などマニュアル作成者より 民生委員やふれあいききサロンで早くから周知 <出前講座「もし/ハザゲーム」> 遊友の会 9/19 6/25 高齢者教室 8/21
-----------------------------	-----------	-----------------------------	----------------------	--

碧南市

医療介護市民講座 パネルディスカッション

1人暮らしの「医療・介護の困りごと」と「準備すべきこと」をお伝えします

ひとりでも安心の備え



令和8年1月8日(木) 午後1時30分～3時30分

●会場 碧南市芸術文化ホール シアターサウス

●対象 どなたでも 先着240名

●参加費 無料

●申込み 電話 95-9890 または FAX 46-5510

(碧南市高齢介護課)

切
12/19

※ FAX の場合は、裏面申込用紙をご利用ください。

※ 右の QR コードもご利用ください。



内容

1. パネルディスカッション(パネリスト)

テーマ: 自宅・入院・入所それぞれの「困りごと」と「準備すべきこと」

- 1) 訪問看護ステーション笑福 山端二三子氏
- 2) 社会福祉法人 愛生館 小林美保子氏
- 3) 碧南市民病院 野村恭子氏
- 4) 小林記念病院 近藤美智子氏
- 5) 碧南南部地域包括支援センター 中根千勢子氏
- 6) 居宅介護支援事業所サンブラトー 石川智宏氏
- 7) 碧南市社会福祉協議会 花井嘉光氏
- 8) 碧南市高齢介護課 齊木鉄馬氏

どんなことを知りたい
ですか？皆さんのお声を、ぜひ
お聞かせください！

2. 話し合い・質疑応答(座長 堀尾医院 理事長 堀尾静氏)

皆さんのお声をもとに話し合いをします。

はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）利用登録状況

令和7年6月2日現在

1 登録事業所数

	市内	市外	合計	割合	機関数	備 考
碧南市医師会	15	—	15	43%	35	
碧南歯科医師会	3	—	3	9%	32	
碧南高浜薬剤師会	18	—	18	49%	37	
介護サービス機関連絡協議会	65	8	73	74%	98	市内：訪看7/7、居宅9/9、訪介8/10
その他	5	4	9	—	—	
合計	106	12	118			

※事業所実件数：複数人登録の場合も1で記載

2 登録同意患者数（累計 H29年10月より）

事業所種別	件数
医療機関	7
訪問看護ステーション	995
居宅介護支援事業所	143
地域包括支援センター	14
サービス事業所	4
	1,163

※令和6年度新規登録同意患者数：161名

3 利用状況

	件数
利用者数	429
患者数（死亡、支援中止者除く）	385
患者投稿数（令和7年度累計）	2,807

*各施設に登録されている全ての利用者数

7 碧 高 第 ● ● 号

令和 7 年 6 月 ● ● 日

碧南市医師会

加入医療機関 各位

碧南市高齢介護課長 小 林 圭 介

(公 印 省 略)

碧南市医療介護連携ネットワーク「はなしょうぶネットワーク」について（依頼）
●●の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、当市の高齢福祉分野
にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、みだしの件について、下記のとおり登録及び活用をご依頼させていただきま
す。ご不明点につきましては、お手数をおかけしますが下記連絡先までお願い致します。

記

1 はなしょうぶネットワークとは

碧南市内における在宅療養者の医療、介護情報等を多職種でネットワークを構築し、
連携を図るためのシステムです。

2 登録及び活用について

下記 URL または QR コードを活用し、碧南市ホームページ内の関連リン
クより、「はなしょうぶネットワーク」ポータルサイト（外部リンク）を
開き詳細のご確認をお願いいたします。



【URL:<https://www.city.hekinan.lg.jp/soshiki/fukushi/kourei/iryokaigo/4694.html>】

【問い合わせ】

担 当 碧南市役所高齢介護課地域支援係（齊木）

電 話 0566-95-9890（直通）

メール koureika@city.hekinan.lg.jp